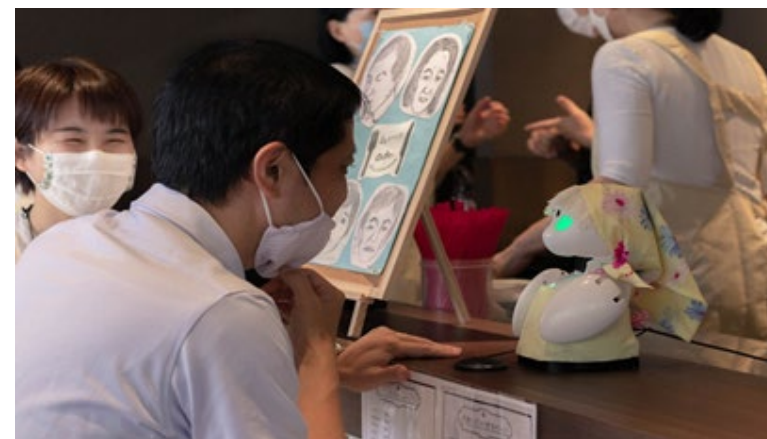


# まあいいかlaboきょうと

## 認知症になっても活躍できる社会をつくる

はじめは、認知症になって同居を始めた母のことば・・・「働きたい」

## 誰ひとり取り残さない社会をめざして



# 「まあいいかlaboきょうと」にご依頼ください

## ・認知症の人が、地域で活躍する機会をプロデュースします 「まあいいかCafé」

→地域の行政・地域包括・病院・施設・企業・学校・お店・商店街・認知症の人と家族をつなぎ、協働することで、住み慣れた地域で暮らし続けられる町づくりに貢献します（京都府下19開催・ホテル・商業施設等の実績もあり）

## ・企業の社員食堂にて、認知症理解の機会をプロデュースします「まあいいか社員食堂」

→介護離職課題は、職場において介護の話題がしやすいかどうか最大テーマ、百聞は一見にしかずで体験してもらうことで、さまざまな年代の社員が、理解し合うきっかけとなり、組織強化につながります

## ・講演・研修講師として承ります（京都府、日本医療マネジメント学会学術総会、同志社大学等実績あり）

→家族介護者としての本音と、プロジェクトの立ち上げ～運営するうえで大切な考え方等チームづくりに役立つセンテンスをお届けします（約3年で認知症キャスト103名、ボランティア349名（キャスト家族・店舗スタッフ含）、来店者1,551名（すべて延べ人数）の実績あり）

## ・社員の方をボランティア研修派遣にいかがですか？

→認知症の人と介護家族、その地域のさまざまな方とつながることで得られる体験は、机上の理論をはるかに超え、参加した本人の内側から起こる気づきや学びは、教えられ与えられたものでなく、消えることはありません

# まあいいかlaboきょうと 代表 平井万紀子プロフィール

1964年生まれ

関西外国語短期大学卒

松下電器産業株式会社(現Panasonic)入社

約6年間勤務したのち、結婚を機に退職。

その後はフリーとして、営業・取材・企画・編集・講演会主催等、さまざまな仕事を経験。

34歳、39歳で出産、2児の母となる。

2014年 認知症と診断された母と同居スタート。

認知症の人がホールスタッフをつとめる「注文をまちがえる料理店」の存在を知り、インスパイアされ、2018年3月～地元京都で「注文をまちがえるレストランテ」「まあいいかCafé」を主催。

当初 母ひとり 娘ひとりからスタートした活動が共感と応援を呼び、これまでの3年間で、計19回、来店者数は1,500人を超える。



お問合せ先：

## まあいかlaboきょうと

---

### まあいかlaboきょうと

代表 平井 万紀子 (ひらい まきこ)  
京都市伏見区桃山町

TEL: 090-3354-3445

FAX: 075-602-2511

Mail: [maiika.kyoto@gmail.com](mailto:maiika.kyoto@gmail.com)

FB: <https://www.facebook.com/maiikakyoto/>

